

経営比較分析表（令和4年度決算）

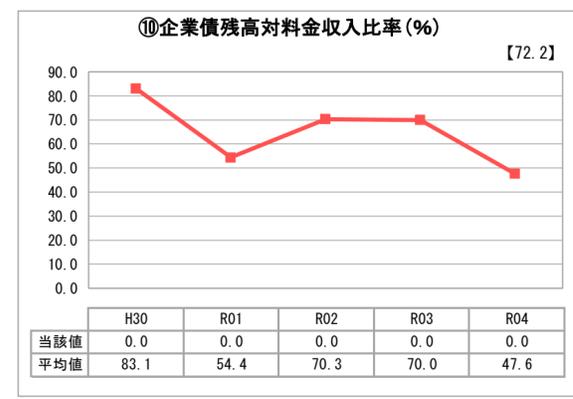
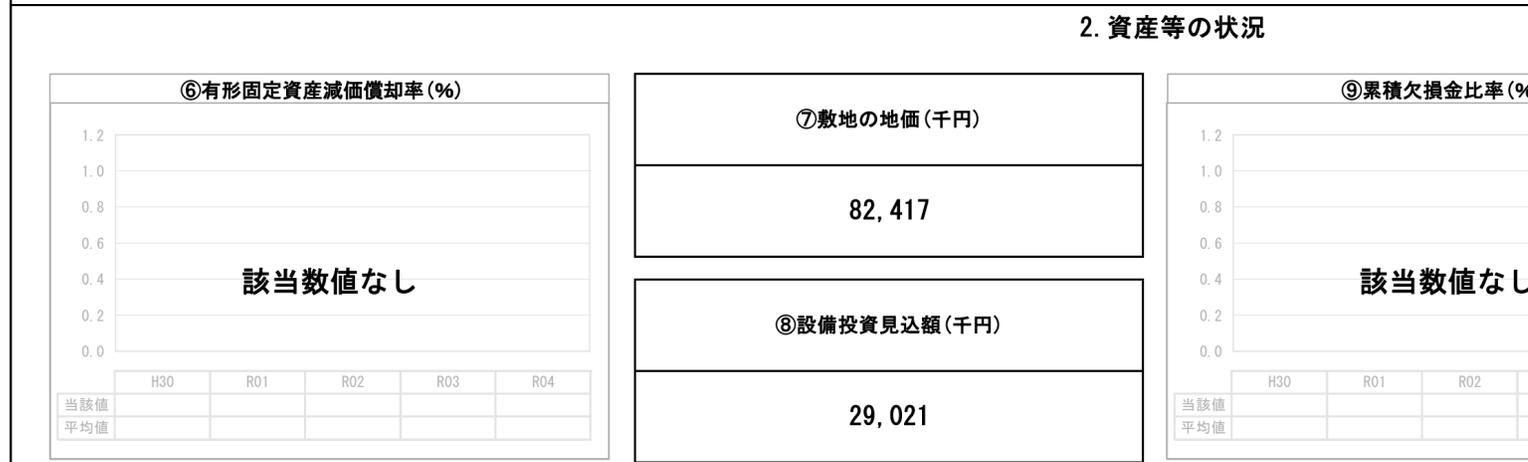
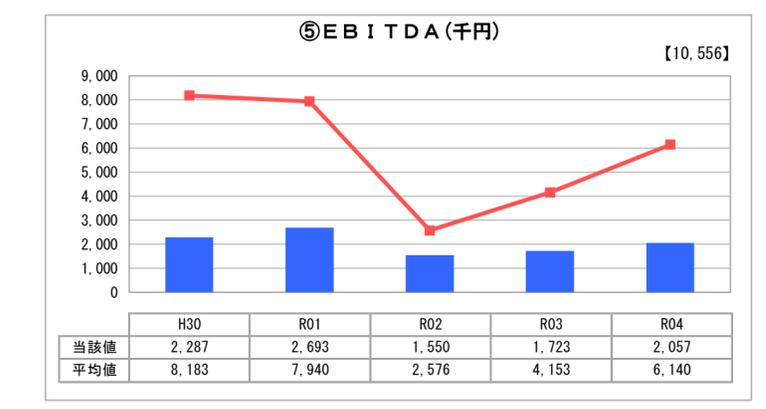
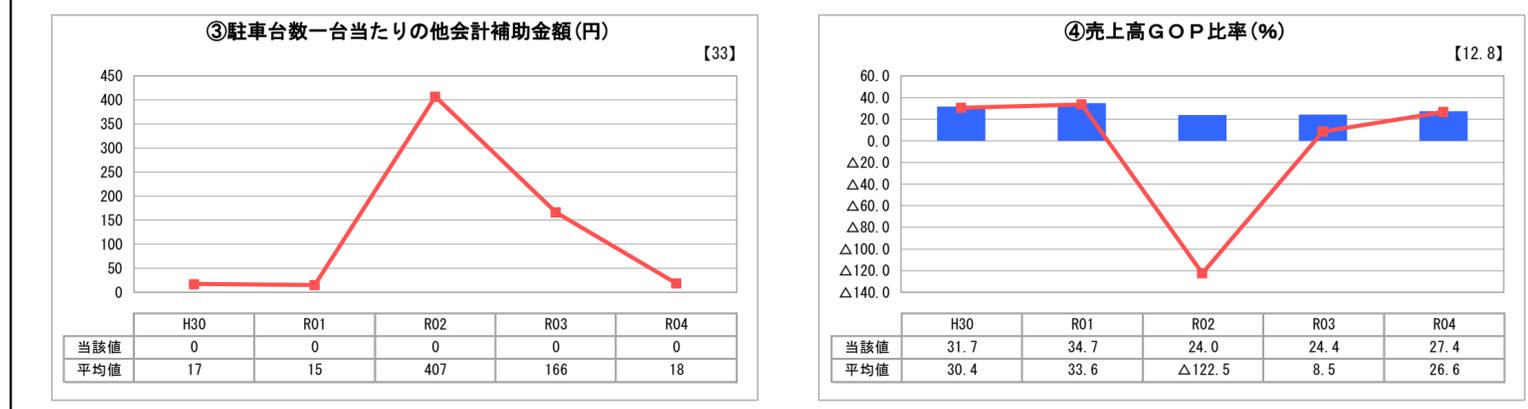
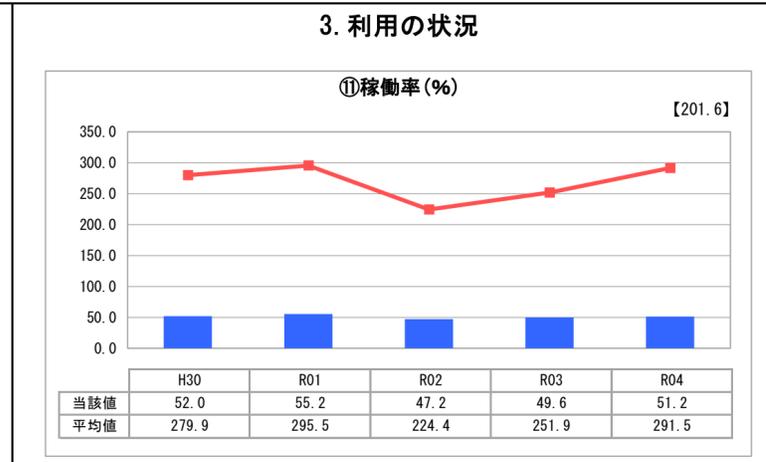
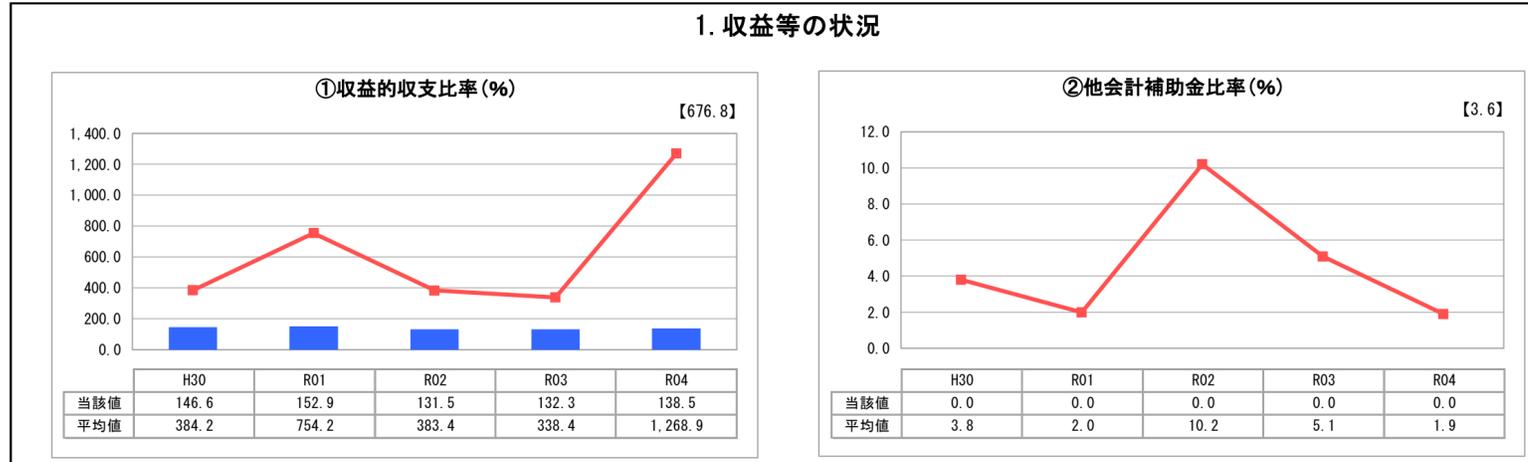
北海道恵庭市 恵み野駅東口駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	15	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,573
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
125	100	無

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

JR駅及び医療機関に近接している当駐車場は、新型コロナウイルスの影響によって使用料収入が落ち込んだ令和2年度以降、利用台数・使用料収入とも回復傾向にあります。

また一般会計からの繰入金、他会計からの補助金、地方債などに頼らない安定した経営ができてい一方、立地の特性上、駐車場の利用回転率が少なく、1日最大料金を設定しているため料金収入が伸びない傾向にあります。

収益的収支比率は100を超えている状態を保っていますが、類似施設の平均値からは大きく下回っている状況であり、令和2年度以降は売上高GOP比率やEBITDAは上昇傾向にあります。

2. 資産等の状況について

当駐車場は平成19年度に整備した青空駐車場であり、固定資産は土地及び設備機器であります。機器は導入から10年以上経過しており、法定耐用年数を超過していることから残存価値はなく、また故障対応が増加している状況であることから、今後の大規模更新を視野に入れていく必要があります。

土地についてはJR駅近接という立地条件上、地価は非常に高いものとなっています。

また企業債残高対料金収入比率は整備分の借入は既に償還が終わり、また一般会計等の負担はないことから、ゼロとなっています。

3. 利用の状況について

当駐車場はJR駅に近接しており、需要が高い施設です。利用の中心はJR通勤者をはじめとした長時間利用者であることから、回転数が伸びず、稼働率の数は類似施設の平均値から大きく下回っている状況です。

令和2年度に新型コロナウイルスの影響により低下した稼働率は、令和3年度以降緩やかな回復傾向となっています。

全体総括

当駐車場はJR駅及び医療機関に近接しており利便性が高く、また平成19年度に整備して相当期間が経過しているため周知が進んでおり、安定した利用がある状況です。

令和2年度の新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ当駐車場の利用台数や利用料収入については回復傾向にありますが、老朽化の進んでいる機器設備の更新を見据え、さらなる収益の改善や市営駐車場の管理体制の見直しなどを検討していく必要があります。